



タイヤ産業世界 CEO 会議開催について

2017年11月17日に米国・カリフォルニア州で、日本、欧州、米国、韓国を代表するタイヤメーカーのCEOが一堂に会し、第7回目のタイヤ産業世界CEO会議を開催致しました。これを受け、共同のリリースを纏めましたので、添付資料にてお知らせ致します。

参加企業

- ・株式会社ブリヂストン
- ・コンチネンタル エージー
- ・クーパー タイヤ アンド ラバー カンパニー
- ・ザ・グッドイヤー・タイヤ・アンド・ラバー・カンパニー
- ・ハンコック タイヤ シーオー エルティディ
- ・クムホ タイヤ カンパニー インク
- ・ミシュラングループ
- ・ピレリ アンド シー エスピーエー
- ・住友ゴム工業株式会社
- ・東洋ゴム工業株式会社
- ・横浜ゴム株式会社

(アルファベット順)

日本からは、ブリヂストン 津谷CEO、横浜ゴム 山石社長、東洋ゴム工業 清水社長が出席しました。

添付資料（計6枚）

1. プレスリリース
2. CEO写真（出席者氏名）

本件に関するお問合せ先

一般社団法人日本自動車タイヤ協会 総務部(広報・涉外担当) 高橋・大高

電話 03-3435-9095 FAX 03-3435-9097

以上

ニュースリリース

世界を代表するタイヤメーカーの CEO が持続可能性（サステナビリティ）に関する重要課題に取り組む研究プロジェクトの継続的な進展を発表

2017 年 11 月 17 日、カリフォルニア州サンフランシスコ – 本日、当地で開催された世界を代表するタイヤメーカーの最高経営責任者（CEO）会議で、タイヤがヒトの健康および環境に及ぼし得る影響を検討する国際研究プロジェクトの最新の結果が発表されました。

タイヤ産業プロジェクト（TIP）は、タイヤのライフサイクルに関連する持続可能性の課題を特定し、その解決策を提案するため 2005 年に 11 名の CEO により設立されました。 TIP は、World Business Council for Sustainable Development (持続可能な開発のための世界経済人会議；WBCSD) の傘下で活動する先見的な組織です。

TIP の最近の研究では、これまでの知見や新たな課題に基づき、以下に焦点を当てています。

- タイヤと道路の摩擦により発生する摩耗粉塵（TRWP）は、大気中、水中および堆積物中を含む様々な環境において継続して研究されてきました。 この研究では、包括的なリスク評価の結果をもとに、過去の研究成果を裏付ける形で、TRWP がヒトの健康および環境に対して安全であると考えられることが立証されました。
- TIP は、廃タイヤ（ELT）に関する報告書を発行しました。 この中には 51 カ国（世界の自動車のおよそ 89% を保有）での ELT の管理方法、リサイクル方法、リサイクル率が含まれ、さらに ELT のいくつかの新しい有益な用途が紹介されています。

世界のタイヤ生産能力のおよそ 65% を占めるタイヤメーカーの CEO が、2 年に一度会合を持ち、TIP の活動の進捗を確認し、さらに新規および継続する研究の今後の活動計画を設定しています。 まず、その一つとして、持続可能な天然ゴム供給を実現していくための検討に注力していきます。 これまでに、天然ゴムの責任ある調達のためのベストプラクティス（最善な方策）について多くの検討がなされてきていましたが、TIP はこの共通のゴールを達成していくための最も効果的な道筋を見出していくと考えています。 その検討では、持続可能なベストプラクティスの評価、適切なガバナンス構造とプラットフォームの選定を実施していきます。

次に、TIP は世界の海洋中のマイクロプラスチックの存在に関連する新しい情報を研究するために、TRWP の移動経路に関する研究の範囲を拡大します。

アルファベット順の加盟企業は以下の通りです。

- 株式会社ブリヂストン
- コンチネンタル エージー
- クーパー タイヤ アンド ラバー カンパニー
- グッドイヤー・タイヤ・アンド・ラバー・カンパニー
- ハンコック タイヤ シーオー エルティディ
- クムホ タイヤ カンパニー インク
- ミシュラングループ
- ピレリ アンド シー エスピーエー
- 住友ゴム工業株式会社
- 東洋ゴム工業株式会社
- 横浜ゴム株式会社

ブリヂストン、グッドイヤーおよびミシュランの 3 社が、今日までのグループの研究の共同リーダーとしての役割を担ってきました。

欧州、日本、韓国および米国のタイヤ協会の代表も TIP の研究の支援を継続すべく、この会議に参加しました。

TIP の加盟企業は、すべての共同研究が調査と研究に基づいた科学的な方法で実施される必要があると考えています。 WBCSD によって集められた第三者の有識者からなるアシュアランス・グループがこの研究の定期的な審議を行っており、直近では、2016 年から 2017 年の期間の研究結果が、2017 年 9 月 7 日に審議されています。 このグループのメンバーには、以下の方々が含まれています。

- John Spengler 博士（米国ハーバード T.H.チャン・スクール・オブ・パブリック・ヘルス）
- Maria Blettner 博士（ドイツ、医療生態学、疫学および情報学研究所（IMBEI））
- Emeric Frejafon 博士（フランス、産業環境危機管理局）
- Lailai Li 博士（中国、中国世界資源研究所）
- 谷口 武俊 博士（日本、東京大学政策ビジョン研究センター）

過去 2 年間にわたり、TIP は以下を含む多くの課題に焦点を当ててきました。

タイヤと道路の摩擦により発生する摩耗粉塵（TRWP）の潜在的な影響

- ロスアンゼルス、ロンドン、東京およびデリーでの広範囲にわたる大気中のサンプリングにより、大きさが PM2.5 ミクロンの TRWP の濃度は非常に低く、ヒトの健康および規制に関する世界中のあらゆる基準値を下回っているという結果が得られました。
- タイヤがライフサイクルを通して及ぼす影響をさらに深く理解するために、TRWP 中に含まれる化学物質に関する追加毒性試験が実施されました。

新しいナノ材料のライフサイクルにおける健康および環境への潜在的な影響

- TIP からの技術支援を受けた経済協力開発機構（OECD）は、タイヤ用に開発され、使用される可能性のある新しいナノ材料の影響を評価した研究を発表しました。この研究では、新しいナノ材料が社会的および経済的にポジティブな効果をもたらすことが示されています。
- また、製品のライフサイクル全体に渡って、ヒトの健康と環境に対し、タイヤで使用される新しいナノ材料の安全な開発と利用に関するベストプラクティスの一般的な枠組みについても概説されています。TIP は、タイヤのライフサイクルにおけるナノ材料の使用方法が、OECD が策定する一般的枠組みの中に追加されるように、OECD と共に検討していきます。

ライフサイクル・アセスメント（LCA）を実施するための製品カテゴリールール（PCR）の策定

- 各社の CEO は、ISO14025 に準拠した業界固有のガイドラインとなる PCR を承認しました。これを基に、タイヤのライフサイクル・アセスメント（LCA）が実施され、LCA が比較可能となる環境第三ラベル（Environmental Product Declarations; EPD）を策定することができます。この PCR は外部専門家によってレビューされています。

共通の報告指標の策定

- 各社の CEO により、2009 年から 2015 年における主要な環境パフォーマンス指標（KPI）（事業所の CO₂ 排出量、エネルギー消費量、取水量および ISO14001 認証取得率）を TIP が発表することが承認されました。これらの KPI は、毎年継続的に更新され、公表されます。これにより、業界として環境負荷を低減するために、TIP 各社が実施している活動の進捗が示されることになります。

廃タイヤ（ELT）の管理

- TIP は、世界中の多くの国々での効果的な ELT 管理を継続的に促進させていきます。ELT 管理を取り巻く主な課題は、ELT を埋め立てゴミにせず、例えば、アスファルトラバー、再生ゴム、セメントキルンでのエネルギー回収などの有効利用をしていくことです。



TIP に関する更に詳細な情報については、以下の WBCSD のウェブサイトを参照してください。

[http://www.wbcsd.org/Projects/Tire-Industry-Project.](http://www.wbcsd.org/Projects/Tire-Industry-Project)

お問い合わせ

Philippe Fonta

Managing Director

Tel: +41 (22) 839 31 00

fonta@wbcsd.org

WBCSD（持続可能な開発のための世界経済人会議）について

WBCSD は、持続可能な世界への移行を促進するために 200 を超す主要な経済人が一緒に活動するグローバルな CEO 主導の組織です。私たちは、株主、環境および社会への最大限の良い影響に焦点を当てることで、加盟企業がより成功裏に持続可能になることをお手伝いします。

私たちの加盟企業は、8.5 兆ドルを超す合算収益と 1900 万人の従業員を代表するすべてのビジネスセクターとすべての経済圏から集まっています。およそ 70 の国家ビジネス協議会からなる私たちのグローバル・ネットワークは、加盟企業に対して世界に類を見ない広がりを提供します。WBCSD は、最も困難な持続可能性の問題に対して効果的なビジネス・ソリューションを提供するため、バリューチェーンに横断的に加盟企業が協力するという独自の立場を有しています。

同時に、2050 年までに、私たちのこの世界の境界線の中で、90 億人を超すすべての人々が生活を営む世界というビジョンによって一体となるという、持続可能性のためのビジネスの主たる声もあります。www.wbcsd.org

ツイッター および LinkedIn でフォローしてください。



2017 年 CEO 会議 写真

前列（左から）

1	Farmer Brownstein Jaeger ファーマー ブラウンスタイル イエーガー 法律事務所	Mr. David Brownstein* デービッド ブラウンスタイル 氏
2	Bridgestone Corporation 株式会社ブリヂストン	Mr. Masaaki Tsuya 津谷 正明 氏
3	WBCSD President & CEO WBCSD President & CEO	Mr. Peter Bakker ピーター バッカー 氏
4	The Goodyear Tire & Rubber Company ザ・グッドイヤー・タイヤ・アンド・ラバー・カンパニー	Mr. Richard J. Kramer リチャード・J・クレーマー 氏
5	Compagnie Générale des Etablissements Michelin, ミシュラングループ	Mr. Jean-Dominique Senard ジャン=ドミニク・スナール 氏

* CEO 会議に同席した弁護士

後列（左から）

1	Continental AG	Mr. Nikolai Setzer
	コンチネンタル エージー	ニコライ ゼツツァー 氏
2	Hankook Tire Co., Ltd.	Mr. Seung Hwa Suh
	ハンコック タイヤ シーオー エルティディ イ	ソスンファ 氏
3	Toyo Tire & Rubber Company, Ltd.	Mr. Takashi Shimizu
	東洋ゴム工業株式会社	清水 隆史 氏
4	The Yokohama Rubber Company, Ltd.	Mr. Masataka Yamaishi
	横浜ゴム株式会社	山石 昌孝 氏